



問 人口減少時代のZ世代の行動特性に関連しての市政運営は

石坂埼玉大学教授の研究によると、Z世代は自分らしさや効率性を重視し、承認欲求が強く、物欲は低い。就職では安定性や働き方の選択を重視し、結婚や子育てに対しては消極的である。このような行動特性を無視して地方創生や人口対策を考えることはできない。市長はこの行動特性についてどう考えるか、そして「こどもまんなか社会」の実現に向けてどうアプローチするかを問う。

答 若者が思っていることを的確に捉え政策を展開していく

Z世代は少子化や高齢化が進む縮小基調の社会を窮屈に感じ、自分の居場所の確保ということで周囲から認めてもらいたいという承認欲求があり、フラットなコミュニケーションを好むこともSNSで発信したことへの反応がダイレクトに返ってくるのが日常になっているからだと分析する。「こどもまんなか社会」は、子育てに要する社会的な負担を社会全体で負担するという考えに基づくもので、子育て支援は福祉政策からこども政策へと転換しつつある。津市の子ども医療費助成等の所得制限撤廃もその流れで行うもの。若者の思いを的確に捉えそのための政策を展開していく。

その他の質疑・質問

- 地域脱炭素推進事業について
- 「認知症基本法」の成立を受けて
- 津市の森林管理について
- 消防本部の女性活躍に向けた取り組みについて
- 設計委託の変更契約について
 - 変更契約の件数は
 - 変更契約のルールと適正な運用について

住宅の屋根に設置されている太陽光発電設備。地域脱炭素の推進が求められている



提供:iChoosr株式会社



問 津駅西口の在り方を問う

津駅西口の現状における課題はどのように整理されているのか。

また、津駅西口駅前広場は混雑により危険な状況にあり、バスの運行事業者などからも安全対策を求める切実な声が上がっている。例えば、ロータリーの中心にある築山を撤去するなど、暫定改修に着手して、危険な状況を早期改善していく考えは。

答 課題解決に向け、エリアマネジメント会議で検討していく

津駅西口の現状における課題として、送迎の車や歩行者などの交通実態を踏まえた交通の整序化、各交通特性を踏まえた乗降場所および動線の設定、快適かつ利便性の高いバス・タクシー乗降場の確保などが挙げられ、課題解決に向けて駅前広場を利用する交通事業者などの関係者が主体的に管理運営方式を検討するエリアマネジメント会議を立ち上げ、検討を進めていく。また、津駅西口駅前広場の築山については、築山を中心に時計回りで一方通行という交通規制が定着しており、単純に築山を撤去するのではなく、本格的な改修を見据えた検討が必要と考えている。

その他の質疑・質問

- 県政要望について、県との連携協力のあり方は
- 危険なバス停の安全対策について、津市内に7か所あると公表されたが、安全対策の進捗状況は
- 津市災害対策図上訓練を見学したが、訓練の目的と狙いは。訓練を実施したことで見えた課題は
- 津市消防本部消防指令センターについて、いたずら等の不適切な通報とその対応は **など**

津駅西口の混雑による危険な状況の改善と安全対策が今も強く望まれている

